

平成31年度とちぎ健康福祉協会事業計画

I 基本方針

社会福祉事業及び県民の健康と生きがいを総合的に支援するための事業を着実、効果的かつ的確に行う。

また、公益性・非営利性の高い社会福祉法人として、その使命である経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の確保、財務規律の強化及び地域における公益的な活動に積極的に取り組む。

さらに、国、県及び市町の福祉施策を踏まえ、経営する施設の運営体制や各種事業の実施体制を充実させ、各サービスを確実に提供する。

なお、実施に当たっては、とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）を業務運営の指針とし、基本理念とする「利用者一人ひとりが、その人らしく、地域社会において健やかに育ち、心豊かに暮らすことを支援する ー健康経営 みんなの力で あふれる笑顔ー」のもと、次の基本方針に基づき、事業を展開する。

- ① 質の高いサービスの提供
- ② 自主自立経営の確立
- ③ 地域社会への貢献

II 事業運営

1 管理部

(所管事業)

事業所名		施設種別・事業名称等		利用定員	備考	
支援業務課 (栃木県立リハビリ テーションセンター障 害者自立訓練センター (駒生園))	障害者支援施設	施設入所支援		30人	実施主体は、地方独 立行政法人栃木県立 リハビリテーション センター	
		自立訓練(機能訓練)		30人		
		自立訓練(生活訓練)		10人		
		短期入所		4人		
わかくさ		母子生活支援施設		20世帯		
桜ふれあいの郷	桜ふれあいの郷 児童施設	福祉型障害児入所施設		15人		
		障害者支援施設(併設)	施設入所支援		15人	
			生活介護		15人	
	短期入所		1人			
	桜ふれあいの郷 生活支援施設	障害者支援施設	施設入所支援		135人	
			生活介護		140人	
			短期入所		4人	
			日中一時支援		15人	
	桜ふれあいの郷 就労支援施設	障害者支援施設	施設入所支援		40人	
			生活介護		25人	
就労継続支援B型			55人			
短期入所			2人			
障がい者支援セン ターふれあい	共同生活援助		54人	8住居		
	障害者就業・生活支援センター					
	職場適応援助者事業					
	一般相談支援事業					
	特定相談支援事業					
	障害児相談支援事業					
清風園	清風園生活支援 施設	施設入所支援		50人		
		生活介護		53人		
		短期入所		5人		
		日中一時支援		5人		
清風園	清風園就労支援 施設	施設入所支援		50人		
		生活介護		45人		
		就労継続支援B型		20人		
		短期入所		2人		
日中一時支援		2人				
宝木保育園		保育所		160人		

(1) 総務課

協会本部としての総合的企画調整機能及び経営管理体制の充実強化に努めるとともに、各施設等と連携し、協会の自主自立経営の確立を図るために必要な事業を推進する。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 安全で快適な利用環境の確保

○桜ふれあいの郷施設建替整備

整備箇所	現在地建替
事業期間	平成29年度～平成33年度
平成29年度	基本計画策定、基本設計
平成30年度	基本設計・実施設計、体育館解体等工事
平成31年度	建物新築工事着手
平成32年度	建物新築工事完了、引越、既存施設解体工事設計
平成33年度	既存施設解体工事
構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 平屋建一部二階建
延床面積	10,824.22㎡
総事業費	約47.6億円

○障がい者支援センターふれあい建替整備

整備箇所	現在地建替
事業期間	平成30年度～平成31年度
平成30年度	実施設計
平成31年度	建物新築工事
構造	軽量鉄骨造平屋建
延床面積	111.22㎡
総事業費	約45,000千円

イ 人材の確保及び職員の資質向上

○競争試験、学校長推薦、嘱託職員の正規職員への登用、障害者雇用等様々な手法による職員採用

○給与・サービス制度等の見直しによる職員処遇の明確化

○団体事業所等への実務研修生の派遣

ウ 情報公開の推進

○事業計画、事業報告書等の備置・閲覧と公表

○ホームページの見直し

○機関紙「かたらい」の発行

② 自主自立経営の確立

ア 経営管理体制の強化

- 人事管理システムの導入
- 中長期的な資金計画の時点修正の実施
- 月次報告作成時の経営分析の実施

イ 健康経営の推進

- 勤怠管理システムの活用等による労働時間の適正管理
- 職員提案制度等の活用

(2) 支援業務課

栃木県立リハビリテーションセンター障害者自立訓練センター（駒生園）の利用者支援に係る業務を受託し、次の項目を推進する。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 利用者の特性に配慮した説明や選択肢の提示
- 意見箱の活用

イ 安全で快適な利用環境の確保

- 苦情や相談受付担当者の設置
- インシデント・アクシデントの事例の検証及び活用

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

- 生活支援員、看護師、OT、PT等職種間の連携

(3) わかくさ

母子を共に入所させる施設の特性を生かし、親子関係の再構築と生活の安定が図られるよう、就労や日常生活及び児童養育に関する相談支援を行うとともに、退所後の相談やその他の援助を行うことで社会的自立を促進する。

また、子どもの貧困対策の推進に努め、関係機関と連携し、児童の生育環境等の整備に取り組む。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 日常的な声かけや面談等の機会を捉え、母親の悩みごとに早期に気付くことによる利用者世帯の子に対する虐待の未然防止、早期発見

- 心理相談事業の実施
- 母親常会、子ども常会の開催
- イ 安全で快適な利用環境の確保
 - 各居室トイレへの温水暖房便座の整備
 - 福祉事務所、学校、保育園との連絡会議の開催
 - 学習教室の開催による学力の向上
 - 利用者の働き方に対応した補完保育の実施
 - 夜間宿直の実施
 - 防災・防犯訓練の実施
- ウ 人材の確保及び職員の資質向上
 - 社会的養護処遇改善加算の取得
 - 基幹的職員を中心としたOJTの活用と内部研修の実施
- エ 情報公開の推進
 - 福祉サービス第三者評価受審結果の公表
- ② 自主自立経営の確立
 - ア 収入の確保と経費節減
 - 関係機関等へのパンフレット送付等による広報
 - 施設見学の積極的受入や来所困難者に対する現地に赴いての説明
- ③ 地域社会への貢献
 - ア 福祉人材・支援技術の活用
 - 養育講座等ひとり親世帯を対象とした講座の実施
 - イ 施設の特性をいかした地域貢献活動
 - 緊急一時利用の受入
 - 一時保護受託事業の実施
 - ウ ボランティアの育成と連携
 - 子どもたちとの交流を目的としたボランティアの受入
 - 学習支援に係るボランティアの受入

(4) 桜ふれあいの郷

利用者の権利擁護に努め、自己選択と自己決定が図られるよう、その意思及び人格を尊重するとともに、利用者個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進するため、質の高い障害福祉サービスを提供する。

また、利用者の心身の状態や地域生活への意欲等を勘案しながら、グループホーム等地域生活への移行を進め、「障がい者支援センターふれあい」を、地域で生活する障害児者及び

その家族に対する支援の拠点とし、総合的な福祉サービス事業を推進する。

さらに、計画に沿った施設の建替整備に取り組むとともに、人口減少等社会情勢を踏まえた利用者定員の見直し検討を行う。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 虐待防止委員会の専門部会（虐待防止推進部会・適正支援推進部会）の開催
- 職員倫理綱領の唱和
- モニタリング等による利用者の意思確認、個別支援計画への反映
- 苦情解決第三者委員の各委員からの意見聴取

イ 安全で快適な利用環境の確保

- 桜ふれあいの郷施設建替整備の実施（再掲）
- 障がい者支援センターふれあいの建替整備の実施（再掲）
- 医療連携体制強化のためのグループホームへの看護師配置
- 移乗用リフトの整備（支援二課）
- 芝刈機の整備（就労支援事業）
- 重度化、高齢化した利用者の増加に対応した医療ケア・支援技術取得のための研修受講
- インシデント・アクシデント報告書の周知徹底・原因分析の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

- 研修計画に基づくサービス管理責任者・相談支援専門員の養成

エ 情報公開の推進

- 保護者等への支援状況の報告
- 定期的なホームページの更新
- かじかさわ通信の発行

② 自主自立経営の確立

ア 健康経営の推進

- 業務管理システムを活用した業務の効率化

イ 収入の確保と経費節減

- 職員提案制度等の活用

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

- さくら市自立支援協議会による福祉の仕事説明会への参加

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

- いちごハートねっと事業への参加（おこまり相談事業、物品の貸出）

○さくら市との福祉避難所の設置運営に関する協定の締結（継続）

○栃木県災害福祉支援チーム（DWA T）への登録

ウ ボランティアの育成と連携

○「桜ふれあいの郷まつり」におけるボランティアの受入

○「桜ふれあいの郷まつり」や「センターふれあい交流会」による地域住民とのふれあいの実施

(5) 清風園

利用者の権利を擁護し、利用者個々の自己選択や自己決定の意思を尊重しながら、自立と社会参加を支援することにより、利用者の自己実現を図るなど、質の高い障害福祉サービスを提供する。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

○権利擁護委員会の開催

○職員倫理綱領及び職員行動規範の随時見直し

○虐待防止委員会の開催

○利用者の意見を反映した個別支援計画書の作成

イ 安全で快適な利用環境の確保

○生活支援施設特殊浴室への空調設備の整備

○利用者の高齢化、重度化、高次脳機能障害、発達障害に対応するための研修受講

○自己評価の実施

○リスクマネジメント委員会の開催

○感染症マニュアルの改定

ウ 人材の確保及び職員の資質の向上

○職場内研修の充実

エ 情報公開の推進

○定期的なホームページの更新

② 自主自立経営の確立

ア 健康経営の推進

○職員提案制度等の活用

イ 収入の確保と経費節減

○関係機関との連携による利用定員の確保

○専門職を中心とした健康管理の実施

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

- 体験実習の受入
- さくら市自立支援協議会による福祉の仕事説明会への参加

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

- いちごハートねっと事業への参加（おこまり相談事業、施設機能の貸出）
- さくら市との福祉避難所の設置運営に関する協定の締結（継続）
- 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録

ウ ボランティアの育成と連携

- さくら市ユースボランティアの受入

(6) 宝木保育園

宝木保育園の基本方針と保育所保育指針に基づき、子どもたちの最善の利益を考え、心身の健やかな成長を支援するための多様な保育サービスを提供していくほか、地域の子育て支援拠点として、相談窓口の設置、交流保育及びボランティア等の受入を継続して実施する。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 保育理念・保育士倫理綱領の周知徹底
- 自己評価の実施
- 危機管理・安全対策検討班の設置
- アンケートの実施（年3回）及び意見箱の設置

イ 安全で快適な利用環境の確保

- 保護者送迎門の改修
- 延長保育の実施
- リトミック、体操、英語、サッカーの各種教室の実施
- 異年齢児間・世代間交流事業の実施
- 一斉メールによる連絡、情報発信
- アナフィラキシー症状に関する職員研修の実施
- 防災・防犯訓練の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質の向上

- 園内外研修の実施

エ 情報公開の推進

- 保護者の体験保育の実施

- 園だより、保健だより、食育だよりの発行
- ホームページによる写真を活用した保育活動の紹介
- ② 自主自立経営の確立
 - ア 収入の確保と経費節減
 - 待機児童解消に向けた受入
 - 一時保育及び休日保育の実施
- ③ 地域社会への貢献
 - ア 福祉人材・支援技術の活用
 - 男性保育士によるイクメン推進講座の実施
 - 職場体験学習の受入
 - イ 施設の特徴をいかした地域貢献活動
 - 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施
 - 保育士有資格者再就職に向けた実習の受入
 - 栃木県災害福祉支援チーム（DWA T）への登録
 - 赤ちゃんの駅、子ども110番、イベント用機材の貸出し等の実施
 - ウ 行事等へのボランティアの受入
 - 地域、学生ボランティアの受入
 - シルバーボランティアの受入

2 事業部

(所管事業)

事業所名	事業名称				備考
健康づくり課	指定管理事業	とちぎ健康の森	とちぎ健康づくりセンター		プール・トレーニング室利用、健康づくり講座他施設貸出
健康の森管理課					
事業企画課		県南支所	とちぎ生きがいつくりセンター	シルバー 大学校	中央校
	県北支所	南校			240人 (120人×1コース×2学年)
		北校			240人 (120人×1コース×2学年)
	高齢者生きがいつくり支援事業	ねんりんピックとちぎ開催事業		はつらつとちぎ21推進事業(委託事業)	スポーツ・文化交流大会、作品展
		全国健康福祉祭(ねんりんピック)派遣事業			スポーツ・ふれあいスポーツ・文化交流大会、美術展
		生きがい推進員運営事業			地域文化伝承団養成支援事業
		介護支援専門員実務研修受講試験事業		委託事業	H30まで指定実施機関(自主事業)
		介護支援専門員研修事業		自主事業	法定研修、指導者養成研修、指導者会議
		賛助会員入会促進事業			法人会員
		情報誌発行事業		補助事業	年間4回発行
就業促進課	シルバー人材センター事業に対する支援				
	高齢者活躍人材確保育成事業				

(1) 事業企画課

指定管理事業であるシルバー大学校の運営及び高齢者生きがいつくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいつくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「とちぎはつらつプラン21(七期計画)」や「とちぎ健康づくり21プラン(2期計画)」に沿った生きがいつくり事業を実施する。

また、とちぎ生きがいつくりセンター県南支所・県北支所の施設管理について、県民誰も

が安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、敷地内緑地や施設・設備の適正な維持管理に努める。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

○シルバー大学校の運営

- ・地域活動の実践に繋がる学習カリキュラムの充実
(地域活動実習、地域活動団体等とのマッチング実施、同窓会支部等の活動事例紹介等)
- ・授業料等コンビニ収納サービスの導入
- ・開校40周年記念式典の開催

○ねんりんピックとちぎ2019の開催

開催期間：5月5日(日)～6月9日(日)

内 容：スポーツ・文化交流大会(19種目)、シルバー作品展(5部門)

○第32回全国健康福祉祭和歌山大会への選手団派遣

会 期：11月9日(土)～12日(火)

派遣内容：スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会・文化交流大会(20種目)
美術展(12点出展)

派遣人員：選手・役員 計160名(見込)

○介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験日：10月13日(日) 受験者数：800人(見込)

○介護支援専門員の各種法定研修の実施

実施期間：6月～翌年3月 受講者数：1,140人(見込)

② 自主自立経営の確立

- シルバー大学校の適正運営に向けた授業料等の改定
- シルバー大学校生の健康度調査等による入学者の確保
- 賛助会員向けサービスの強化等による会員増への取組強化

③ 地域社会への貢献

- シルバー大学校卒業生の健康づくり講座の実施やねんりんピック派遣選手の活用
- とちぎ健康の森フェス2019等へのボランティアの受入

(2) 健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行う。

特に、「とちぎ健康21プラン（2期計画）」や「栃木県健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施する。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

○利用者ニーズに応じた施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施

○地域や団体等に出向いた講座や研修会の実施

- ・企業・団体等と連携した出張講座
- ・市町職員等の健康づくり活動を支援する研修会
- ・県南・県北支所を活用した講座等の実施

○利用者の状況や目的に応じた専門職種によるチーム体制の支援

○健康づくりに関する相談や情報提供、普及啓発

○調査研究及びノウハウを生かした新たな講座等の実施

② 自主自立経営の確立

○アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った運動・栄養・休養の各種事業の展開による利用者の確保

○継続利用に向けた仕組み（運動メニューの作成や集団指導）作りの実施

○講座等の適正実施に向けた利用料金の改定

③ 地域社会への貢献

○電話や来訪による随時健康相談の実施

○地域住民や学校等からのボランティアの積極的な受入

○主催イベントへの小学校、自治会等の参加呼びかけ

(3) 健康の森管理課

県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設・設備の維持管理に努める。

また、とちぎ健康づくりセンター及びとちぎ生きがいづくりセンターの広報活動や施設の利用・貸出に係る情報を個人情報の保護に配慮しつつ「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努める。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 定期設備点検及び保安警備、敷地内緑地管理等、とちぎ健康の森の施設・設備等の適正な維持管理の実施
- 災害・事故等の危機管理対策の徹底
- 公平な施設の貸出及び利用の確保
- サービス向上委員会等の開催
- 利用者ニーズや利便性を考慮した施設運営
 - ・予約管理システムの導入
 - ・プリペイドカード特典の充実
 - ・企業等への利用チケット制の提案
 - ・コンビニ収納サービスの実施
 - ・オリジナルグッズの有償頒布

② 自主自立経営の確立

- 施設の適正管理及び運営に向けた利用料金の改定
- 電力・ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制、省資源・省エネルギーへの取組

③ 地域社会への貢献

- 県民への一部施設の無料開放（県民の日・家庭の日）
- 災害時に対応した自衛消防組織及び県や関係機関との連絡・協力体制の整備
- 施設が有する災害時対応機能の地域住民への周知
- 各施設・事業の連携によるとちぎ健康の森フェス2019の開催
- 主催イベント（とちぎ健康の森フェス2019）への運営ボランティアの受入や小学

校・自治会等の参加呼びかけ

○中学生の職場体験の受入

(4) 就業促進課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識・技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するための普及啓発、研修、相談・指導等を実施する。

なお、具体的な事業は、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が実施する。

ア シルバー人材センター事業に対する支援

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援する。

イ 高齢者活躍人材確保育成事業

地域の高齢者や企業に対する積極的な周知・広報、就業体験を通じた高齢者、企業双方のシルバー人材センターに対する理解促進、及び必要な技能講習の実施により、新規会員及び活用企業の増加を図る。

Ⅲ 利用実績及び計画

1 管理部

(単位 人)

わかくさ	平成29年度実績			平成30年度見込			平成31年度計画		
	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率
世帯数(世帯)	210	17.5	87.5%	208	17.3	86.7%	240	20.0	100.0%
家族人員	608	50.6	—	608	50.6	—	690	57.5	—
母親	210	17.5	—	208	17.3	—	240	20.0	—
児童	398	33.1	—	400	33.3	—	450	37.5	—

桜ふれあいの郷	平成29年度実績			平成30年度見込			平成31年度計画			
	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	
児童	措置児童	4,380	12.0	100.0%	4,380	12.0	100.0%	4,026	11.0	100.0%
	契約児童	1,434	3.9	98.2%	1,452	3.9	99.5%	1,456	3.9	99.5%
	施設入所	5,091	13.9	99.6%	5,453	14.9	99.6%	5,462	14.9	99.5%
	生活介護	3,630	13.9	99.7%	3,890	14.9	99.7%	3,887	14.8	99.3%
生活	施設入所	48,091	131.7	87.8%	48,057	131.6	97.5%	48,421	132.2	98.0%
	生活介護	34,669	133.3	88.9%	35,362	135.4	90.7%	35,261	135.0	96.5%
就労	施設入所	13,915	38.1	95.3%	13,982	38.3	95.8%	14,493	39.5	99.0%
	生活介護	6,291	24.1	96.8%	6,031	23.1	92.8%	6,329	24.2	97.0%
	就労継続B	13,068	50.2	91.4%	13,390	51.3	93.6%	13,637	52.2	95.0%
共同生活援助	19,355	53.0	98.2%	18,980	52.0	96.3%	19,368	53.0	98.3%	

桜ふれあいの郷	平成29年度実績			平成30年度見込			平成31年度計画			
	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	
短期入所	児童	0	0	0.0%	8	1	2.2%	4	1	1.1%
	生活	415	6	28.4%	213	4	14.6%	242	6	16.5%
	就労	39	3	5.3%	150	2	20.5%	4	1	0.5%
日中一時	2,923	24	74.9%	1,900	19	48.7%	2,525	25	64.5%	

清風園	平成29年度実績			平成30年度見込			平成31年度計画			
	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	
生活	施設入所	16,693	45.7	91.5%	16,733	45.8	91.7%	17,751	48.5	97.0%
	生活介護	13,551	43.2	81.7%	13,190	42.2	79.8%	13,979	44.5	84.0%
就労	施設入所	17,660	48.3	96.8%	17,117	46.8	93.8%	17,568	48.0	96.0%
	生活介護	11,028	41.9	93.2%	10,707	41.0	91.2%	11,318	43.1	96.0%
	就労継続B	5,334	20.2	101.4%	5,400	20.6	103.4%	5,659	21.5	108.0%

清風園	平成29年度実績			平成30年度見込			平成31年度計画			
	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	
短期入所	生活	945	15	51.8%	645	11	35.3%	549	5	30.0%
	就労	72	8	9.9%	168	5	23.0%	36	1	4.9%
日中一時	生活	196	5	10.7%	133	2	7.3%	156	2	8.5%
	就労	17	1	2.3%	2	1	0.3%	12	1	1.6%

宝木保育園	平成29年度実績			平成30年度見込			平成31年度計画			
	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	
乳児	0歳児	202	16.8	—	215	17.9	—	205	17.0	—
	1歳児	360	30.0	—	356	29.6	—	360	30.0	—
	2歳児	359	29.9	—	360	30.0	—	360	30.0	—
幼児	3歳児	382	59.9	—	360	60.0	—	360	64.0	—
	4歳児	347	28.9	—	384	32.0	—	384	32.0	—
	5歳児	372	31.0	—	336	28.0	—	384	32.0	—
合計	2,022	168.5	105.3%	2,011	167.5	104.7%	2,053	171.0	106.9%	

2 事業部

	平成29年度実績	平成30年度見込	平成31年度計画
とちぎ健康づくりセンター			
施設利用講習年間利用者数（人）	2,634	2,265	3,000
プール・トレーニング室年間利用者数（人）	81,879	82,300	82,000
会議室等年間利用時間（時間）	8,872	8,963	8,900
とちぎ生きがいづくりセンター			
講堂等年間利用時間（時間）	7,266	7,740	—
県南支所 教室等年間利用時間（時間）	747	752	—
県北支所 教室等年間利用時間（時間）	1,408	1,470	—
シルバー大学校学生数（中央校、人）	556	500	566
シルバー大学校学生数（南校、人）	240	218	228
シルバー大学校学生数（北校、人）	181	190	230
高齢者生きがいづくり支援事業			
ねりんピックとちぎ参加人数（人）	2,671	2,494	3,000
全国健康福祉祭派遣実績（派遣場所、人数）	秋田県・150	富山県・149	和歌山県・160
介護支援専門員実務研修受講試験申込者数（人）	1,803	703	800
介護支援専門員研修事業延受講者数（人）	1,310	1,121	1,140